

実績評価書

平成18年7月

政策体系	番号	
基本目標	5	労働者の職業能力の開発及び向上を図るとともに、その能力を十分に発揮できるような環境を整備すること
施策目標	1	雇用の安定・拡大を図るための職業能力開発の枠組みを構築すること
	II	職業能力開発に関する情報の収集、整理及び提供の体制を充実強化すること
担当部局・課	主管部局・課	職業能力開発局総務課基盤整備室
	関係部局・課	職業能力開発局育成支援課

1. 施策目標に関する実績の状況

実績目標1	若年者に対するキャリア形成支援を総合的に行う中核的な拠点として「私のしごと館」を運営すること				
(実績目標を達成するための手段の概要)					
若年者を中心に様々な職業体験機会を提供するとともに、学校、企業、地域社会や他の若年者支援施設・機関とも連携しながら、職業に関する情報提供や職業生活設計に関する相談・援助等を行い、キャリア形成を総合的に支援することを目的として、平成15年3月30日に「私のしごと館」の運営を開始した。					
○ 関連する経費					
・ 「私のしごと館」の運営に要する経費（平成17年度予算額）1,405百万円					
(評価指標の考え方)					
私のしごと館に係る定量的評価指標とした。					
(評価指標)	H13	H14	H15	H16	H17
「私のしごと館」建設及び設備に係る準備状況の割合	8割	10割	—	—	—
(評価指標)	H13	H14	H15	H16	H17
プログラム・ツールの開発等の準備状況の割合	8割	10割	—	—	—
(評価指標)	—	3,282	333,328	494,232	521,842
各事業のサービス利用者の延べ人数(人)					
(備考)					
・ 独立行政法人雇用・能力開発機構調べ。					

- ・「同館の実施する事業の対象者数」の平成14年度の実績は、平成15年3月30日（運営開始日）及び31日の2日間分のみ。

実績目標2 職業能力開発情報を総合的・体系的に提供すること

（実績目標を達成するための手段の概要）

労働者がキャリア形成を進める上で必要となる人材ニーズ情報、職業に関する基本的な情報、教育訓練コース等の情報、能力評価に関する情報等を収集・整理し、統合的に利用できるようにするために、これらの情報をデータベース化した「キャリア情報ナビ」を開発・運用することにより、総合的かつ体系的に必要な情報を提供するための仕組みを整備した。

なお、この「キャリア情報ナビ」は、平成13年度に我が国の情報収集の現状及び諸外国の先進的な取組事例を調査、平成14年度に提供する情報の整理及び人材ニーズ情報収集のための調査、平成15年度及び16年度に人材ニーズ情報データベースの開発等を行い、平成17年11月より、インターネット上で、職業能力開発情報の総合的・体系的な提供を開始するとともに、eラーニングの講座を選択する上で必要な情報を提供する仕組みの機能を追加した。

○関連する経費

- ・職業能力開発情報の総合的・体系的提供（平成17年度予算額）148百万円

（評価指標の考え方）

職業能力開発情報の整備状況や「キャリア情報ナビ」へのアクセス件数の動向を把握することにより、職業能力開発情報が総合的、体系的に提供されたかを評価する。

（評価指標）	H13	H14	H15	H16	H17
職業能力開発情報を総合的・体系的に提供する仕組みの整備状況	0.5割	2割	5割	7割	10割
ポータルサイト「キャリア情報ナビ」へのアクセス件数（件）	—	—	—	—	351,078

（備考）

- ・平成18年度は、職業能力開発情報を総合的・体系的に提供する仕組みの運用を引き続き行うとともに、提供する情報の拡充を図り、利用者の利便性を高める予定である。
- ・キャリア情報ナビのアクセス件数については、運用を開始した平成17年11月1日からの数値である。

2. 評価

(1) 現状分析

現状分析

高い若年者の完全失業率、早期離職率や、ニート、フリーター、若年失業者の合計が400万人弱に達するなど、若年者の雇用が大きな社会問題となる中、その要因とし

て、職業に触れ仕事への動機付けを持つ機会の不足、職業意識の希薄化、目的意識が十分伴わないままでの進学増加等を背景とした基礎的能力の低下や自らの資質と進路のミスマッチの増大等の問題点が指摘されている。

このような状況が続けば、国民一人一人が十分に能力を発揮できず自己実現ができないばかりか、企業にとっても将来を担う人材の確保が困難となり、ひいては、我が国経済の中長期的な競争力・生産性の低下、社会不安の増大等を惹起しかねないことから、生徒・学生といった早期の段階から、様々な職業に触れることなどを通じた職業意識の形成を図っていくことが重要な課題となっている。

労働者の就業意識・就業形態の多様化、企業による人材の即戦力志向の高まり、企業内の職務再編の柔軟化や、労働移動の増大等に伴い、これまでの企業主導の職業能力開発に加え、労働者の自発性を重視した職業能力開発の推進の重要性が増している。

労働者個人が労働市場の中で自らの適性を考えつつ、適切な職業選択や能力開発を行い、キャリア形成を行うためには、人材ニーズ情報、職業に関する基本的な情報、教育訓練コース等の情報、能力評価に関する情報等を入手できる仕組みの整備が求められる。

(2) 評価結果

政策手段の有効性の評価

(実績目標1)

私のしごと館は、平成17年度の各事業のサービス利用者の延べ人数が、521,842人であり、また、平成17年度に行ったアンケート調査において、i)利用者から今後の進路について具体的なイメージが湧いた、仕事というものや将来の自分の職業について考えるようになった等の回答を得た割合が83.0%、ii)利用者に対する追跡調査を実施し、「私のしごと館」の活用により、自己理解、職業理解が進んだ、将来の就職に向けて何らかの行動を起こした等の具体的な変化があったという回答を得た割合が85.8%、iii)「私のしごと館」を利用した失業者が就職に結びつく具体的な行動（採用面接への応募、公共職業安定所等での職業紹介、派遣の登録等）を起こしたという回答を得た割合が87.5%と高い割合を示していることから、政策手段として有効であると考えられる。

(実績目標2)

人材ニーズ情報、訓練コース情報、能力評価情報等の職業能力開発情報を収集・整理し、これらの情報の提供を平成17年11月よりインターネット上で開始したところ、平成18年3月までに351,078件のアクセスがあったことから、本手段は施策目標の達成に当たり有効であると評価できる。

政策手段の効率性の評価

(実績目標1)

私のしごと館は、若年者を中心に職業意識の効率的かつ効果的な形成等を図るため、約40種類の職業体験機会、体系的な職業情報及び職業相談等をワンストップで提供するとともに、利用者の属性やニーズに応じ、利用者向けモデルコースの開発・提供

や、利用者に対するキャリア・コンサルティングにより、適性や興味・関心のある職業に関して、教育訓練機関等の情報提供を行うなど、網羅的かつ体系的な運営を行っているところであり、政策手段として効率的であると考えられる。

なお、厳しい財政事情を踏まえ、平成 18 年度の私のしごと館に係る運営費交付金予算額は、対前年度 15 % 減 (2 億円減) の約 12 億円とし、人件費についても、平成 16 年度決算額 (3.8 億円) の約 2 割減の約 3 億円としたところである。

(実績目標 2)

職業能力開発情報を総合的・体系的にインターネット上で提供していることから、場所を問わず、また、時間や労働者個人のニーズにあわせた情報提供ができていたため、効率的といえる。

総合的な評価

私のしごと館の各事業のサービス利用者の延べ人数が開館以降順調に伸びており、適切な運営が図られていることから、若年者を中心に職業意識の形成が図られ、施策目標の達成に向けて進展があった。

労働者の就業意識・就業形態の多様化、企業による人材の即戦力志向の高まり、企業内の職務再編の柔軟化や、労働移動の増大等に伴い、これまでの企業主導の職業能力開発に加え、労働者の自発性を重視した職業能力開発の推進の重要性が増している中、労働者個人が労働市場の中で自らの適性を考えつつ、適切な職業選択や能力開発を行い、キャリア形成を行うためには、人材ニーズ情報、職業に関する基本的な情報、教育訓練コース等の情報、能力評価に関する情報等を、インターネット上で提供していることから、場所を問わず、また、時間や労働者個人のニーズにあわせ、効率的に提供できていることから、非常に有効であると考えられる。

以上により、施策の目標の達成に向け進展はあったと考えられる。今後、提供する情報について、最新のものに更新するとともに、拡充を図り利用者の利便性を高める必要がある。

評価結果分類

- 1 目標を達成した
- ② 達成に向けて進展があった
- 3 達成に向けて進展がみられない

分析分類

- 1 分析が的確に行われている
- ② 分析がおおむね的確に行われている
- 3 分析があまり的確でない

3. 特記事項

①学識経験を有する者の知見の活用に関する事項

なし。

②各種政府決定との関係及び遵守状況

(実績目標 1)

「規制改革・民間開放推進 3 か年計画 (再改定)」(平成 18 年 3 月 31 日閣議決定)において、「私のしごと館」(独立行政法人雇用・能力開発機構の設置・運営する施設)における体験事業のうち、業界団体や伝統工芸団体等の協力により実施している職種以外の職種(「私のしごと館」が自ら実施している職種)の 5 職種に関する体験

事業について、「公共サービス効率化法（市場化テスト法）案」（仮称）が次期通常国会で成立したあかつきには、原則として、同法に基づく市場化テストを平成 18 年度中に実施し、平成 19 年 4 月から落札者による体験事業が実施できるように措置する。」とされている。

（実績目標 2）

I Tに係る政府方針や主たる計画（I T政策パッケージ 2005（平成 17 年 2 月 24 日 I T戦略本部決定）等にしたがって実施している。

③総務省による行政評価・監視等の状況

（実績目標 1）

政策評価・独立行政法人評価委員会による平成 16 年度における独立行政法人の業務実績評価に対する意見（平成 17 年 11 月 14 日）において、「「私のしごと館」については、多額の維持管理費、人件費コスト等の支出を伴っている現状にかんがみ、コスト削減の指標を明確にするとともに、費用対効果の把握・分析を適切に行い、廃止を含めたその在り方の検討が可能となるような評価を行うべきである。」とされている。

④国会による決議等の状況（警告決議、付帯決議等）

なし

⑤会計検査院による指摘

なし